

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 11 月 24 日 (2011.11.24)

【公表番号】特表 2008-524708 (P2008-524708A)

【公表日】平成 20 年 7 月 10 日 (2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報 2008-027

【出願番号】特願 2007-546759 (P2007-546759)

【国際特許分類】

G 0 5 B 13/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 5 B 13/02 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 9 月 30 日 (2011.9.30)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 6 】

このプロセスのパラメータの設定値を受け取る手段；プロセスのセンサと第 1 のフィードバック・ループを介してプロセスのパラメータに関するフィードバック信号を受け取る手段；設定値とフィードバック信号を比較して誤差信号を生成する手段；並列 P I D パスで誤差信号を処理する手段；およびフィードバック信号に基づいて少なくとも 1 つの P I D パスの制御因子を自動的に調整する手段を含む、プロセスを制御する装置を開示する。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 8 】

制御因子プロセッサ 2 1 8 などの手段は、フィードバック信号に基づいて少なくとも 1 つの P I D パスの制御因子を自動調整するために設けられる。例として示す図 2 の実施例において、制御因子プロセッサ 2 1 8 は、出力をゲイン調整乗算器 2 2 0、2 2 2、2 2 4 の 1 つあるいはそれ以上に対し供給する。